

ティーチング・ポートフォリオ (TP) 概要

2024 年 7 月 27 日

学部・学科・氏名	現代文化学部・こども文化学科・大竹聖美
教育理念	＊本物に出会って感動し、個の尊重に基づく対話を通じた真理の探究。 ＊学習者の主体的な実践活動の環境を整え、学習者も教授者も共に誠実さと謙虚さを大切にしながら共感し、分かち合い、磨き合っていくこと。 ＊ひらかれた精神に与えられた知見と技能を携えながら、喜びをもって社会に奉仕できることに感謝すること。
教育の責任	これまで担当してきた主な科目は、純心平和学／Humanities Basics／人間とアート／現代文化セミナー／こども文化セミナー／こども文化特講／読書論／こどもと言葉／保育内容演習・言葉／言語表現活動／児童文学論／児童文化論／教職保育実践演習／総合演習／日本語／絵本論／韓国の文化／日本の言語と文化などである。 こども文化学科閉学科後は、看護学部の教養科目である「純心平和学」など、教養科目や大学コンソーシアム講座などを担当することが見込まれる。
教育の方法・成果	① 本物に出会い、感動する…絵本や紙芝居の実物に触れる機会を多く設定し、第一線で活躍する絵本作家を招いた特別講演会を行っている。 ② 個の尊重、対話を大切にした授業 ③ 真理の探究…主体的かつ自由に調べ探究できるように、図書館に「授業関連図書コーナー」を設け、授業外学修を支援している。 ④ 主体的な実践活動の環境を整える…学科に演習室の設置を提案し、自ら積極的に管理し、教具(紙芝居などの舞台、エプロンシアター、読み聞かせ用大型絵本)と教材(折り紙・画用紙・ハサミ・糊など)を整え、製作活動や模擬保育などのアクティブラーニングができる環境を構築している。 ⑤ 誠実さと謙虚さ／共感と分かち合い／磨き合う授業…制作物の授業内発表と講評、学内展示による公開を行っている。 ⑥ 知見と技能を携えながら、喜びをもって社会に奉仕できることに感謝する…地域共創の企画展示にて平和の絵本を紹介する、子育て支援事業にて読み聞かせをするなど積極的にボランティア活動ができるような仕組みを作っている。
改善	「こどもと言葉」の授業評価アンケートでは、学生から「絵本の楽しさを教えていただいた」「色々な幼児向けの本に触れて親しみを持てたし、保育的活動をする上で大切なことを学べた」などの評価が記された。同科目では、2023 年度「ベストティーチャー賞」を受賞した。
目標	こども文化学科の閉学科後は、現在兼任している図書館長ならびに教養教育室長として看護学部の学生を対象に、これまで同様、建学の精神と自身自身の教育理念を重ね合わせながら教養教育にあたりたい。
TP を作成して感じたこと	大学の建学の精神と教育理念ならびに学部のディプロマ・ポリシーと、自身の担当科目のシラバス・授業概要・実践の事実、さらには学生による授業評価アンケートなどのエビデンスを網羅的に収集し、時間をかけて整理・分析・解釈した経験は、大学人としての私を内省的に深く掘り下げ、総合的に振り返る大変意義深いものだった。